

(別紙4(2))

事業所名: (有)サナス グループホーム出島

作成日: 令和 1 年 10 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6-5	毎月、職員会議の場やケアカンファレンスの場で身体拘束についても必要に応じた話し合いや定期的に研修を実施し虐待や拘束をしない取り組みをしていたが、委員会として明確な位置付けが不足していた。又、指針についてはマニュアルと同様になっており、きちんとした指針を打ち出せていない為、書類の整備が必要。	①身体拘束の適正化に向けた指針の整備。 ②委員会の委員構成の再整備を行う。	①については、身体拘束マニュアルの見直しとしてきちんとした書類(指針内容)を作成する。 ②については、委員会のメンバー構成を見直し、運営推進会議を活用するために委員の方も身体拘束の適正化委員として参加して頂き、運営推進会議の場で身体拘束事案の有無の報告・やむを得ず身体拘束を行う場合の妥当性の検証、及び改善等の方法を検討する。又、委員会開催の議事録を職員会議録に記載していたが、身体拘束の適正化委員会議事録と名称しファイルを作成し綴じる。会議内容は、議事録を閲覧すると共に職員会議で報告する。	0.5ヶ月
2	35-13	毎月、避難訓練を実施しているが、火災訓練が中心で自然災害に向けての訓練の回数が少なく、又、鉄筋コンクリート造りの7階建ての5階であると云う事から、屋外への避難を想定していないため、きちんとした対応マニュアルが整備されていない状況である。	①風水害及び地震への対応マニュアルの整備を早急に行う。 ②対応マニュアルに沿って訓練を実施する。 ③非常時用の持ち出しファイルを整備する。	①については、早急に対応マニュアルの整備(作成)を行う。火災時の対応マニュアルを基に、屋内での安全区画の場所や避難経路等災害の種類に応じた行動がとれるように詳細な計画書を作成する。 ②については、年間計画に消防署員立会いで災害訓練を位置付けている為、計画通りに実施する。 ③については、必要な情報等の整備を行い、持ち出し袋に保管し、最新の情報を常に入れておくようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。